

<ジーコム独自調査レポート No.111>

福岡県居住者の暮らし向きに関する調査 結果報告書

2018年1月

調査概要

1. 調査方法

弊社アンケートモニター「コムネット」登録者に対するインターネット調査

2. 調査対象

福岡県在住の20歳以上の男女

3. 調査時期

平成29年12月21日（木）～12月28日（木）

4. 調査規模

460サンプル

【標本構成】

■性	件数	構成比(%)
男性	217	47.2
女性	243	52.8
全体	460	100.0

■年齢	件数	構成比(%)
20代	76	16.5
30代	84	18.3
40代	100	21.7
50代	100	21.7
60代以上	100	21.7
全体	460	100.0

■職業	件数	構成比(%)
会社員	157	34.0
公務員	13	2.7
団体職員	11	2.5
会社役員	6	1.3
派遣社員・契約社員	28	6.0
商工自営	20	4.2
農林漁業	1	0.3
自営手伝い	2	0.4
自由業(医師・弁護士・税理士等)	10	2.2
学生	8	1.7
パートアルバイト	63	13.7
専業主婦(主夫)	98	21.2
無職	44	9.5
その他	1	0.1
全体	460	100.0

■世帯年収	件数	構成比(%)
200万円未満	43	9.5
200～300万円未満	50	11.0
300～400万円未満	68	14.9
400～500万円未満	61	13.5
500～600万円未満	48	10.6
600～700万円未満	36	8.1
700～800万円未満	30	6.6
800～900万円未満	21	4.6
900～1000万円未満	15	3.4
1000～1500万円未満	20	4.5
1500万円以上	6	1.2
わからない	55	12.1
全体	452	100.0

* 学生を除く

【報告書の見方】

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合や合計値に誤差が生じる場合がある。
- 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- 報告書中の図表では、コンピューター入力 of 都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

1. 暮らし向きの変化

暮らし向き判断指数は、プラスに転じた昨年に引き続き最高値を更新。

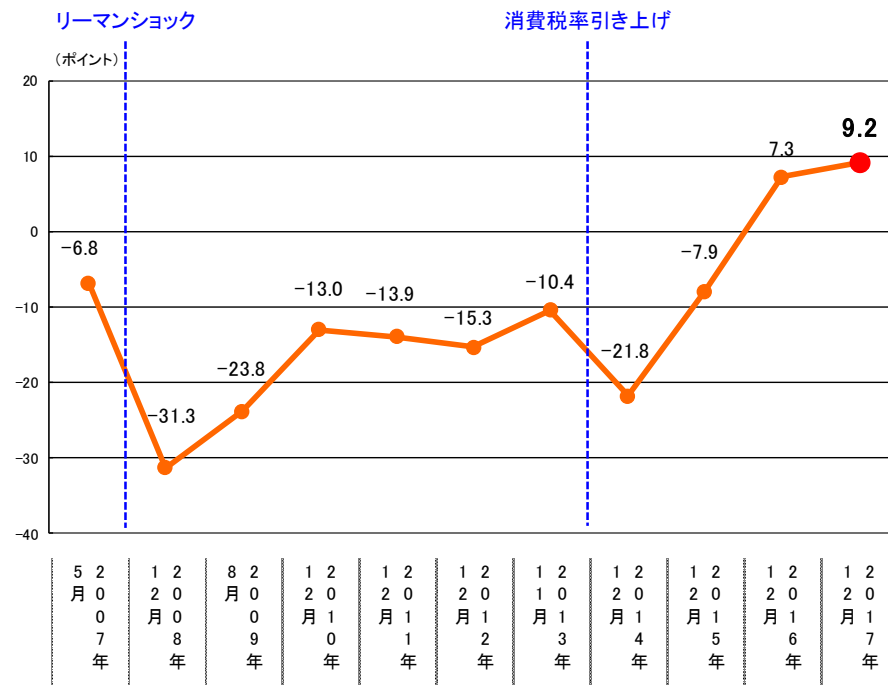
1年前と比べ暮らし向きが「良くなった」「どちらかという良くなった」と回答した割合から、「悪くなった」「どちらかという悪くなった」と回答した割合を減じた『暮らし向き判断指数』は、9.2ポイント。前年の7.3ポイントからやや増加した。

- ・性別では、大きな違いは見られない。
- ・年代別に見ると、年代が上がるにつれて暮らし向き判断指数が低くなり、60代以上では唯一マイナスとなった。20代と60代以上とでは40ポイント近くの開きがある。
- ・世帯年収別に見ると、世帯年収が上がるにつれて暮らし向き判断指数が高くなっている。

◆ 1年前と比べた暮らし向きの変化【単一回答】

	調査数	【%】				【%】		【ポイント】		
		良くなった	どちらかという良	どちらかという悪	悪くなった	肯定層	否定層	暮らし向き判断指数	暮らし向き判断指数	
全体	460	4.3	20.7	59.2	11.2	4.7	25.0	15.8	9.2	7.3
性別										
男性	217	3.8	20.5	60.6	10.8	4.2	24.3	15.1	9.3	4.2
女性	243	4.7	20.9	57.8	11.5	5.1	25.6	16.6	9.1	10.0
年代別										
20代	76	11.8	28.9	48.7	9.2	1.3	40.8	10.5	30.3	21.5
30代	84	2.8	26.3	56.4	10.5	4.1	29.1	14.5	14.5	15.7
40代	100	3.7	20.9	63.4	7.4	4.6	24.6	12.0	12.6	7.7
50代	100	4.0	19.0	56.3	12.1	8.5	23.0	20.6	2.4	1.5
60代以上	100	0.6	11.3	68.1	16.1	4.0	11.9	20.0	-8.1	-6.0
世帯年収別										
300万円未満	95	2.5	18.3	62.1	11.1	6.0	20.8	17.1	3.7	-3.5
300～500万円未満	133	4.8	25.0	47.6	15.7	6.9	29.8	22.6	7.2	0.6
500～700万円未満	84	7.0	17.8	60.4	9.6	5.3	24.8	14.8	10.0	12.9
700～900万円未満	51	3.1	23.2	63.6	8.3	1.7	26.3	10.1	16.3	4.2
900万円以上	41	5.8	27.0	62.7	4.6	0.0	32.7	4.6	28.2	35.7

◆ 暮らし向き判断指数の推移



* 肯定層＝「良くなった」+「どちらかという良くなった」
 否定層＝「悪くなった」+「どちらかという悪くなった」
 暮らし向き判断指数＝肯定層-否定層

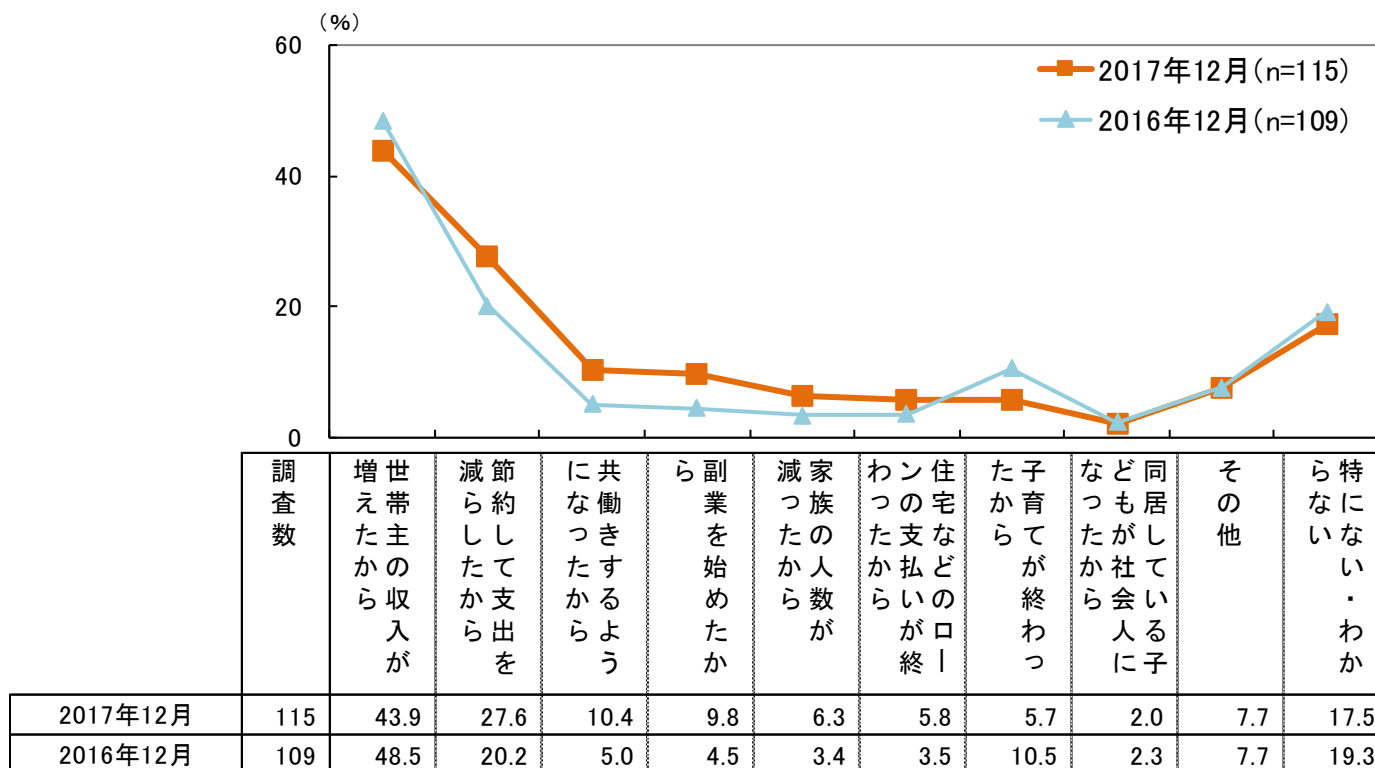
2. 暮らし向きが良くなった理由 ※暮らし向き肯定層限定

暮らし向きが良くなった理由は、「世帯主の収入増」がトップだが前回からやや減少。一方、「節約」や「共働き」「副業の」割合が増加している。

1年前と比べて、暮らし向きが「良くなった」「どちらかという良くなった」と回答した人にその理由を聞いたところ、「世帯主の収入が増えたから」の割合が43.9%で最も高く、次いで「節約して支出を減らしたから」27.6%、「共働きをするようになったから」10.4%の順であった。

・サンプル数が少ないため、属性別の分析は省略した。

◆暮らし向きが良くなった理由【複数回答】



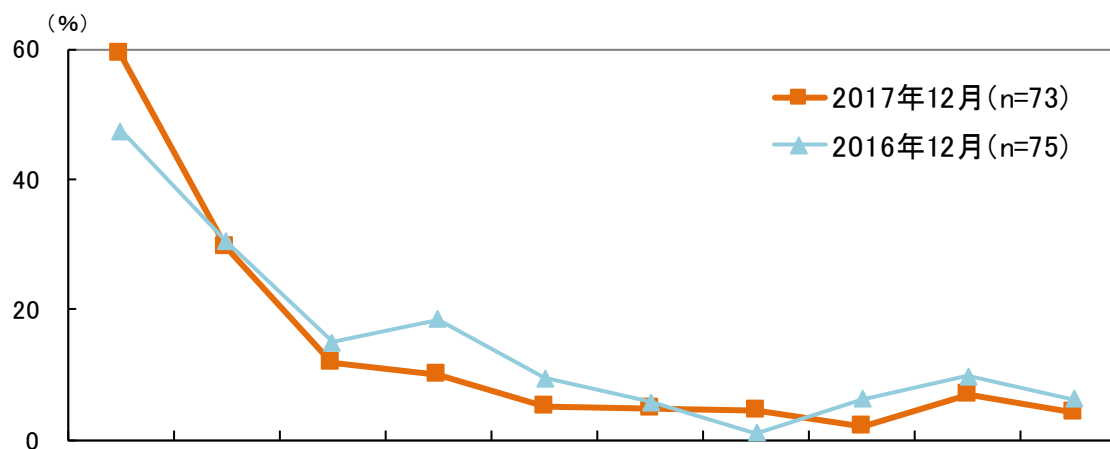
3. 暮らし向きが悪くなった理由 ※暮らし向き否定層限定

暮らし向き悪化の理由は、「世帯主の収入減」が前回から10ポイント以上増加し突出。

1年前と比べて、暮らし向きが「悪くなった」「どちらかという悪くなった」と回答した人にその理由を聞いたところ、「世帯主の収入が減ったから」の割合が59.3%で最も高く、次いで「2014年に消費税率が引き上げられたから」29.6%、「教育費が増えたから」11.9%の順であった。

・サンプル数が少ないため、属性別の分析は省略した。

◆暮らし向きが悪くなった理由【複数回答】



調査数	世帯主の収入が減ったから	2014年に消費税率が引き上げられたから	教育費が増えたから	介護が必要になったため	家族の病気が治療や	共働きをやめたから	へんになったから	別居している家族	家族の人数が増えたから	住宅などのローンが増えたから	その他	特にない・わからない
2017年12月	73	59.3	29.6	11.9	10.1	5.0	4.7	4.5	2.2	7.1	4.2	
2016年12月	75	47.5	30.5	15.0	18.5	9.4	5.8	1.0	6.3	9.7	6.3	

4. 2018年の暮らし向き予想

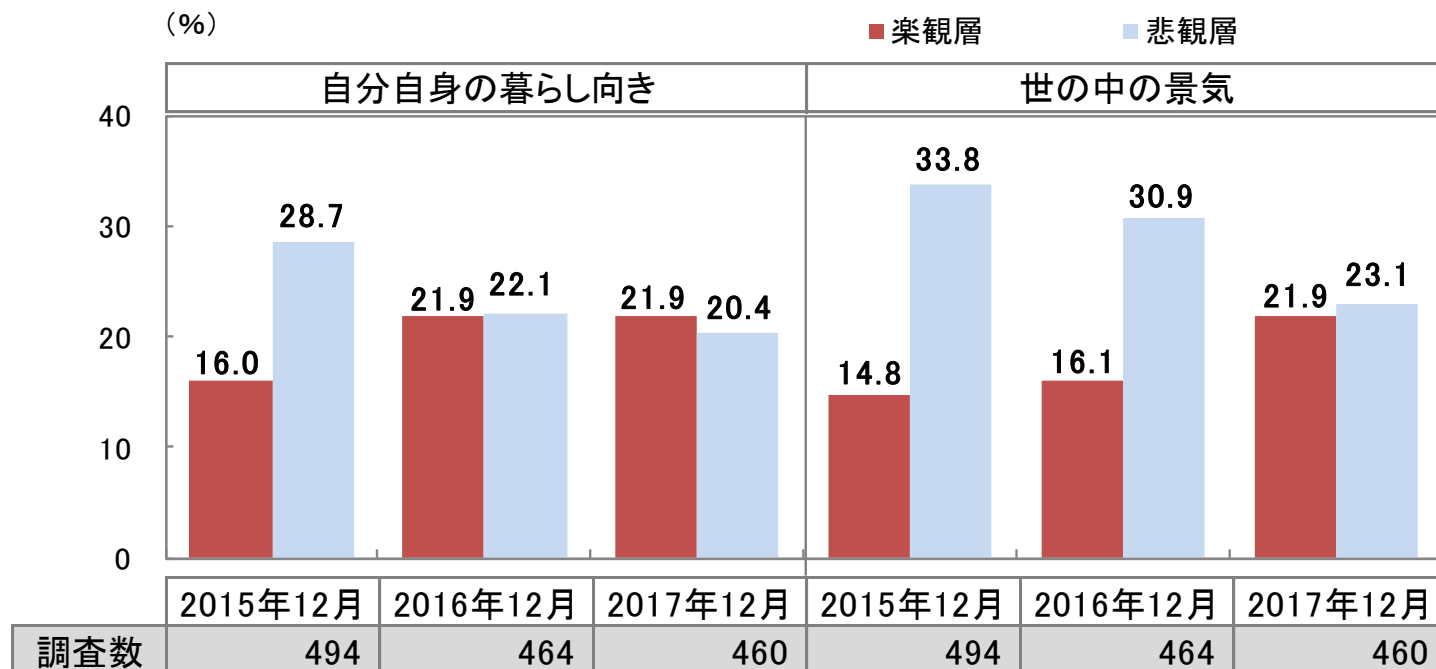
自分自身の暮らし向き予想は昨年から変化はないが、世の中の景気予想については楽観的な傾向が年々強まっている。

2018年の『自分自身の暮らし向き』について、「良くなる」「どちらかという良くなる」と回答した楽観層の割合は21.9%、「悪くなる」「どちらかという悪くなる」と回答した悲観層の割合は20.4%であり差はない。前回調査と比べて大きな変化はなかった。

また、2018年の『世の中の景気』については、楽観層の割合は21.9%、非楽観層の割合は23.1%となっており、前回調査と比べて楽観層が増加し悲観層が減少した。

- ・性別では、世の中の景気について男性は女性に比べて楽観層の割合が高い。
- ・年代別に見ると、自分自身の暮らし向きと世の中の景気両方で、60代以上は他の年代に比べて悲観層の割合が最も高い。
- ・世帯年収別では、世の中の景気について300万円未満の層で悲観層の割合がやや高くなっている。

◆2018年の暮らし向き予想【単一回答】
* 楽観層と悲観層抜粋



* 楽観層＝「良くなる」＋「どちらかという良くなる」、悲観層＝「悪くなる」＋「どちらかという悪くなる」

◆2018年の自分自身の暮らし向き予想【単一回答】

		調査数	【%】				【%】		
			良くなる	どちらかというと良くなる	どちらかというと悪くなる	悪くなる	楽観層	悲観層	
全体		460	5.7	16.2	57.7	15.0	5.4	21.9	20.4
性別	男性	217	4.9	17.7	59.3	12.7	5.4	22.6	18.1
	女性	243	6.4	14.8	56.4	17.0	5.4	21.2	22.4
年代別	20代	76	11.8	14.5	67.1	3.9	2.6	26.3	6.6
	30代	84	8.1	22.5	54.4	11.7	3.3	30.6	15.0
	40代	100	5.2	21.3	57.4	13.0	3.1	26.5	16.1
	50代	100	2.2	16.1	57.2	15.0	9.4	18.4	24.4
	60代以上	100	3.0	7.1	54.3	28.0	7.6	10.1	35.6
世帯年収別	300万円未満	95	6.7	12.2	58.2	15.7	7.2	18.9	22.9
	300～500万円未満	133	7.0	17.0	55.0	14.0	6.9	24.1	20.9
	500～700万円未満	84	4.6	12.9	58.3	18.7	5.6	17.5	24.3
	700～900万円未満	51	5.1	21.0	58.3	15.7	0.0	26.0	15.7
	900万円以上	41	4.1	22.8	58.7	10.1	4.3	26.9	14.4

◆2018年の世の中の景気予想【単一回答】

		調査数	【%】				【%】		
			良くなる	どちらかというと良くなる	どちらかというと悪くなる	悪くなる	楽観層	悲観層	
全体		460	2.7	19.2	55.0	18.7	4.4	21.9	23.1
性別	男性	217	3.8	23.9	50.9	16.9	4.6	27.6	21.5
	女性	243	1.8	15.0	58.8	20.3	4.2	16.8	24.5
年代別	20代	76	5.3	14.5	51.3	25.0	3.9	19.7	28.9
	30代	84	4.0	19.3	58.5	13.3	4.9	23.3	18.2
	40代	100	1.5	24.2	57.1	13.2	4.0	25.7	17.2
	50代	100	0.7	21.0	56.9	17.2	4.2	21.7	21.4
	60代以上	100	3.0	15.8	51.0	25.5	4.8	18.8	30.2
世帯年収別	300万円未満	95	4.3	17.1	48.1	25.9	4.7	21.3	30.5
	300～500万円未満	133	3.6	20.9	50.1	19.7	5.7	24.6	25.3
	500～700万円未満	84	2.5	18.0	56.9	16.6	6.0	20.5	22.6
	700～900万円未満	51	0.0	21.2	61.0	17.9	0.0	21.2	17.9
	900万円以上	41	0.0	20.4	64.3	13.2	2.1	20.4	15.4

* 楽観層＝「良くなる」+「どちらかというと良くなる」、悲観層＝「悪くなる」+「どちらかというと悪くなる」

発行元：株式会社ジーコム

福岡市中央区天神4丁目1-1 第7明星ビル7F

TEL 092-761-0221

FAX 092-761-0228

URL：<http://www.gcom-net.co.jp/>

E-mail：inq@gcom-net.co.jp